平成29年度行政評価 事務事業評価シート（平成28年度実績）

事務事業コード	060302040	予算コード	01039800	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	排水施設管理事業			正規職員数	1.9	国庫支出金	0	有効性	A	今後の雨水整備に伴い、既設水路から雨水管への取り込み箇所の増加でスクリーン設置数も増え，維持管理の重要性がさらに高くなる。浸水対策用雨水ポンプについては、維持管理を適正に行い、浸水防除に努める必要がある。	
担当課	上下水道総務課			嘱託職員数	0	府支出金	0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0	効率性	B		
				歳出（千円）		その他	3				
				人件費総額	16,254	一般財源	52,290	妥当性	A		
						減価償却費	0				
						事業費	36,039	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	施設管理事業			フルコスト（千円）			52,293	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当りコスト（円）			518			し渣（ゴミ）と沈砂の収集を行う事により、浸水防除に努めた。また、大阪湾へのゴミの流出を抑える事により公共用水域の水質保全に努めた。	
対象				活動指標		H28実績		公的関与	A		
その他		対象数		し渣（ゴミ）と沈砂の収集と処分量			279.7				
スクリーンは市内一円に設置（１００箇所）				管理する浸水対策用ポンプ台数			10.0	実施主体・委託化	D		
事業の内容											
①市内一円スクリーン清掃業務　水路の通水阻害とならないよう、適宜スクリーン清掃を行う。								他の事務事業との関連	A		
②浸水対策用ポンプ点検業務　雨水が未整備で過去に浸水が集中して発生したため、その対策として、浸水対策用雨水ポンプを設置。降雨時に適正に稼動するよう定期的に保守点検（５回/年　7箇所10台）している。				成果指標		H28実績		透明性	B		
				し渣（ゴミ）と沈砂の処分量			279.7				
				適正に稼動する浸水対策用ポンプ台数			10.0	財政健全化計画	該当なし		
③円田川排水ポンプ設備維持管理業務　施設が適正に稼動するよう定期点検を実施。ゴミを当ポンプ場で引き上げ処分する。								財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標		H28実績		改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				し渣（ゴミ）と沈砂の処分量当り経費			179,768.0				
①水路の溢水防止や家屋の浸水防止とそのための施設の適正な管理				管理する浸水対策用ポンプ台数当り事業費			201,349.0				
②円田川の環境美化の推進とそのための施設の適正な管理											